



令和5年
石井小学校

としょかんだより 6月号

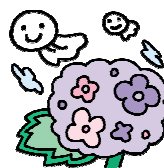
※保護者様へ お子様と一緒に読んでください。

雨の多い季節になりました。どうして、この時期を「梅雨」というのでしょうか？ みなさんは知っていますか？ 日本では、6月の半ばから月にかけて、梅の実が熟すことから「梅の熟すころの雨」→「梅雨」となったそうです。

雨が降っていて外で遊べない日は、室内でゆっくり読書をしてみましょう。外へ行けない残念な気持ちも、本を読むことで明るくなるかもしれません♪



あめのひの図書室は



雨の日には、いつもよりたくさんの方が図書室を利用します。

長い列ができたり、混みあったりしますが、そんなときこそルールとマナーを守り、周りの人に迷惑をかけない過ごし方ができるようにしましょう。

①列に並んだら

「時間内に借りられるかな？」と焦る気持ちもあるけれど、自分の番になるまで、落ち着いて待ちましょう。

②自分の番になったら



本のバーコードを読み取ってもらう前に、「借ります」「返します」のどちらなのかを伝えるようにしましょう。そうすることで、早く手続きをすませることができます。

③周りにいる人のために

歩いている人や借りる本を選んでいる人のために、通路や本だなの前をあけておくと、みんな気持ちよく利用できますよ。

上の3つが守れたら、図書室マナー検定、上級者です。

混んでいるとイライラするけど、ちょっとがまん！

図書委員さんも、いっしょうけんめい、がんばっています。





6月15日は栃木県民の日



みなさんに誕生日があるように、わたしたちが住んでいる栃木県にも誕生日があります。

1873年（明治6年）6月15日に、それまでの栃木県と宇都宮県が一緒になって、

おおむね今と同じ県域の栃木県が誕生しました。今年で150年を迎えます。

この日を記念して、6月15日が「栃木県民の日」となりました。

そこで、図書だより6月号では、栃木にゆかりのある人の本や、栃木のことをもっと知る
ことのできる本を紹介したいと思います。みなさんの知らなかった栃木の姿を発見して
みましょう。

『かんがえるカエルくん』

作：いわむらかずお

出版社：福音館書店



いわむらかずおさんは、『14ひきのシリーズ』の
作者でもあります。栃木県的那珂川町には、『い
わむらかずお絵本の丘美術館』があり、お話を
や、自然と親しめるイベントが行われています。

『海のいのち』

作：立松和平

出版社：ポプラ社



立松和平さんは栃木県生まれで、作品には栃木県
を舞台としたものがあります。『海のいのち』は
6年生の国語の教科書に掲載されており、ほかに
も『山のいのち』『黄ぶな物語』も書いています。

『栃木の百様 大図鑑』

作：栃木県

出版社：小学館



栃木県の自慢のグルメや自然、歴史などが満載で
す。みなさんはいくつ知っているでしょうか？高
学年向けですが、写真が大きく、低学年のみなさ
んにも、読んでもらいたい1冊です。

『とちキャラクターズ 大百科』

作：とちぎマスコットキャラクター事務局

出版社：下野新聞社



栃木県の可愛いマスコットキャラ
クターたちが大集合！キャラク
ターたちのひみつのプロフィールや、
観光スポットが地域別にまとめられています。

前回の図書だよりの「プチスペシャルカード」のクイズは、答えが出せたでしょうか？

正解は、『こいのぼり』でした。正解の解答用紙をもってきてくれた201人のみなさんに、

「プラス1冊貸し出し券」をプレゼントしています。また挑戦してみてくださいね♪